

DX の定義・動向について（概要）

1. DX（デジタルトランスフォーメーション）の定義

- ・「ICT の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念。スウェーデンの大学教授であるエリック・ストルターマンが 2004 年に提唱
 < 「DX レポート 2(中間とりまとめ)」(経済産業省) では、企業向けに次のような段階別の定義が紹介されている >
- ・ デジタイゼーション：アナログ・物理データの単純なデジタルデータ化
- ・ デジタライゼーション：個別の業務・製造プロセスのデジタル化
- ・ デジタルトランスフォーメーション：組織横断/全体の業務・製造プロセスのデジタル化、“顧客起点の価値創出”のための事業やビジネスモデルの変革

2. 国の動向

「デジタル・ガバメント実行計画」(平成 30 年 1 月 初版)
 (令和 2 年 12 月 改訂)

【文部科学省】

「文部科学省におけるデジタル化推進プラン」

(令和 2 年 12 月)

生涯学習・社会教育におけるデジタル化の推進を挙げる

【総務省】(地方自治体の DX)

「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」

(令和 2 年 12 月)

「デジタル・ガバメント実行計画」における自治体関連の施策について具体化

【経済産業省】(民間企業の DX)

「DX レポート ～IT システム「2025 年の崖」の克服と DX の本格的な展開～」

(平成 30 年 9 月)

DX を実現していくための対応策

「DX 推進指標」(令和 2 年 5 月修正)

「DX 推進ガイドライン」(平成 30 年 12 月)

「DX レポート 2 (中間取りまとめ)」

(令和 2 年 12 月)

コロナ禍を踏まえ個社の DX とデジタル社会の実現に向けた変革を加速

【国立国会図書館】

「国立国会図書館ビジョン 2021-2025-国立国会図書館のデジタルシフト-」(令和 3 年 4 月)

資料のデジタル化の加速やインターネット提供資料の拡充等に言及

3. 都の動向

「『未来の東京』戦略ビジョン」(令和元年 12 月)

DX で「スマート東京」を実現することが盛り込まれる

取組の具現化・加速化

「スマート東京実施戦略～東京版 Society 5.0 の実現に向けて～」(令和 2 年 2 月)

都庁の業務や都民サービスの DX を推進

新型コロナとの闘いを踏まえ、バージョンアップ

「『未来の東京』戦略」(令和 3 年 3 月)

輝くシニアライフに向け様々な支援を展開する場所として図書館が挙げられている。

実現に向け、都政の構造改革を推進

影響

「シン・トセイ 都政の構造改革 QOS アップグレード戦略」(令和 3 年 3 月)

DX を梃子に都庁を「デジタルガバメント」化

緊密に連携

「東京デジタルファースト推進計画」

(令和 3 年 7 月) 行政手続のデジタル化を強力に推進

4. 民間、各業界の動向

「コロナショックで進む DX」

(『日経クロストレンド』令和 2 年 9 月)

流通、医療、教育、アパレル業界で DX が進んでいる

「電子書籍やオンライン問い合わせなど図書館の DX (政策アイデア)」

(政策立案株式会社 令和 2 年 7 月)

図書館の DX に関連する動向の整理や、DX に向けたチェックポイントを掲載

「ポストコロナのローカル DX 戦略～時空を超える公共サービスの可能性～」

(株式会社日本総合研究所 令和 2 年 6 月)

図書館サービスの DX による解決策を示す